



アプライアンスのワイプ

この章では、ワイプアプライアンスの起動オプションを使用する方法について説明します。説明する項目は次のとおりです。

- [アプライアンスのワイプオプションの概要 \(1 ページ\)](#)
- [アプライアンスのワイプ手順 \(1 ページ\)](#)
- [ワイプとクラスタ \(3 ページ\)](#)

アプライアンスのワイプオプションの概要

アプライアンスのワイプブートオプションを使用すると、Threat Grid アプライアンスのディスクをワイプして、廃棄前にすべてのデータを削除したり、Cisco Demo Loan Program に戻したりすることができます。



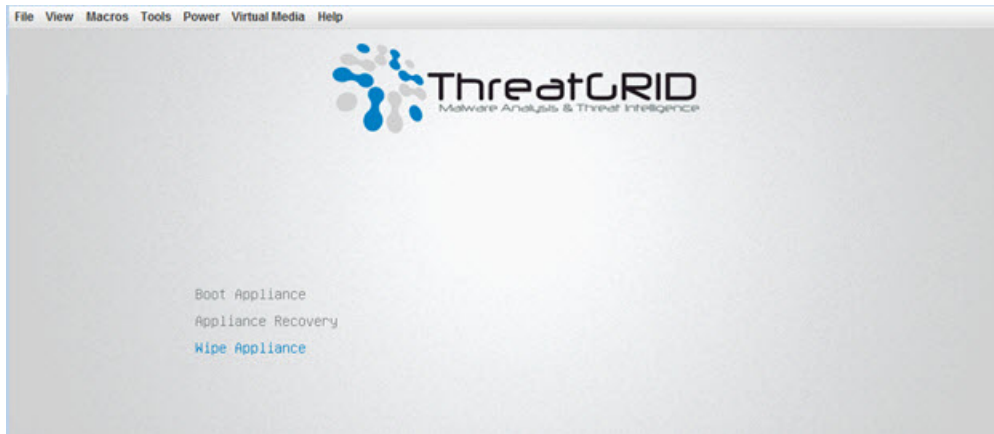
重要 アプライアンスのワイプ手順を実行すると、Threat Grid アプライアンスは、シスコに返却してイメージを再作成しない限り稼働しなくなります。

アプライアンスのワイプ手順

アプライアンスをワイプするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 アプライアンスを再起動し、ブートアップウィンドウが 4 秒間表示されている間に **[Wipe Appliance]** を選択します。

図 1: アプライアンスのワイプオプション



ステップ 2 次の情報を入力します。

- [Username] : 「wipe」
- [Password] : 「I ACCEPT ALL RESPONSIBILITY FOR THIS ACTION」

ステップ 3 ワイプオプションを選択します。

図 2: ワイプオプション



- [Wipe (Fast: Zero Disks)] : 実行に約 2.5 時間かかります。

- [Wipe (3-pass DOD method)] : 実行に約 16 時間かかります。
- [Wipe (Random Overwrite)] : 実行に約 12 時間かかります。

ワイブ操作が完了すると、[Wipe Finished] ウィンドウが表示されます。

図 3: [Wipe Finished]

```

nwipe 0.17 (based on DBAN's dwipe - Darik's Wipe)
-----
Options                               Statistics
Entropy: Linux Kernel (urandom)       Runtime:      02:32:13
PRNG:   Merseme Twister (mt19937ar-cok) Remaining:    07:06:30
Method: Quick Erase                   Load Averages: 1.99 2.13 2.20
Verify: Off                            Throughput:   4878 GB/s
Rounds: 1 (plus blanking pass)         Errors:       0

/dev/sda - LSI MR9271-8i
(success) [173272 KB/s]

/dev/sdb - LSI MR9271-8i
(success) [1558960 KB/s]

Wipe finished - press enter to exit. Logged to STDOUT
    
```

ステップ 4 Enter を押して終了します。

ワイブとクラスタ

ワイブ操作を実行すると、Threat Grid アプライアンスは、シスコに返却してイメージを再作成しない限り稼働しなくなります。クラスタノードのワイブは、完全に削除されるというフラグが OpAdmin でそのノードに付けられた後にのみ実行する必要があります。クラスタからノードを削除しないでください。削除せずに、ワイブしてから再度追加します。そうしないと、再度追加した後にそのノードがマスターになると、望ましくない結果が生じる可能性があります。

OpAdmin の [Remove] ボタンをクリックして、そのノードが単に非アクティブということではなく、削除されたことをシステムに通知します。

